

科目名	人間と文化			授業形態	開講期間	10月7日～2月3日	
	英文科目名	Human and Culture		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 9～10限 16:00～17:25 (予定)	
受講定員等	担当教員	高橋 明彦		成績評価の方法	開講場所	金沢美術工芸大学 視聴覚教室 (予定)	
	単位数	2単位				・筆記試験1回(学期末) ・授業時間内での感想文の提出(毎回)	
	定員数	30名					
	特別聴講学生等定員						
	科目等履修生定員						
	シティカレッジ聴講生定員						
	定員超過時の選考方法等	受付順					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：5月23日～6月3日		受講料
					検定料	入学料	授業料
					28,200円 (市内居住者及び本学卒業者) 56,400円 (その他の者)	29,600円	
科目の内容	(テーマ) 江戸のメディアー近世印刷出版史論						その他特記事項
	近世(江戸時代)は印刷の技術革新がなされ、出版が営利事業として成立し、流通が確立した日本最初の時代である。書物においては、民間の本屋が林立し、株仲間が組織され、数多くの書籍が製作された。絵画においても、絵手本・浮世絵等は本屋のプロデュースによるものである。一方、官営・藩営・寺社等の書物・印刷物の作成も盛んであり、また、文学・絵画等の芸術・学問的なもののみならず、草双紙・暦・実用書・日用雑貨なども印刷文化の中で消費されている。明治時代以降の出版文化・技術革新も視野に入れつつ、これらの諸現象を、初歩的な解説も含め、多面的に概括する。						
授業担当教員紹介		URL	<a href="https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/teacher/825/">https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/teacher/825/</a>				
ホームページ・メールアドレス等		E-mail					